# SQL Server 2016 Developer with Service Pack 1 (x64) のインストール

最終更新: 2017年11月18日

**URL**: https://www.kunihikokaneko.com/dblab/toolchain/sqlserver2016.docx もしくは https://www.kunihikokaneko.com/dblab/toolchain/sqlserver2016.pdf

SQL Server 2016 は、リレーショナルデータベース管理システム.

**キーワード**: SQL Server 2016, SQL Server Management Tools, ODBC データソース, Windows

#### 目次

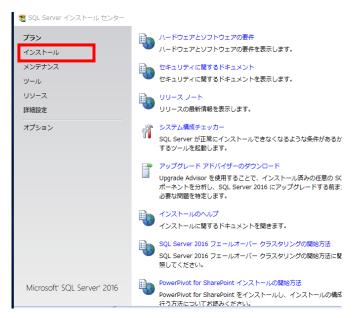
1.	インストール手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2.	SQL Server Management Tools のインストール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
3.	ODBC データソースの作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	C
4.	ODBC データソースに A5:SQL MK-2 を用いて接続 ・・・・・・・・・・・ 1	2

## 1. インストール手順

① setup.exe を実行



② SQL Server インストールセンターの画面で、「インストール」をクリック



## ③ 「SQL Server の新規スタンドアロン・インストールを実行するか、既存のインストールに機能を追加」をクリック



### ④ プロダクトキーを入力し、「次へ」をクリック

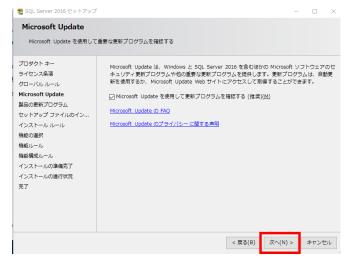


#### ⑤ **ライセンス条項を確認**し、「次へ」をクリック



⑥ Microsoft Update の画面では、

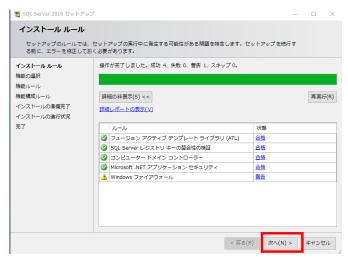
「Microsoft Update を利用して更新プログラムを確認する」をチェックして、「次へ」をクリックする。



② 製品の更新プログラムの画面では、「次へ」をクリックする

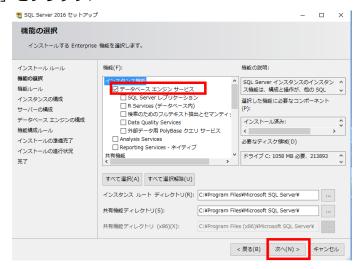


⑧ インストール・ルールの画面では,「次へ」をクリックする.

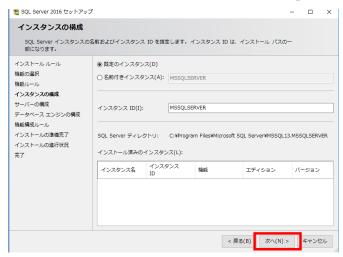


- ⑨ 機能の選択の画面では,
- ・「**データベースエンジンサービス**」をチェック
- ・その他, 必要な機能をチェック

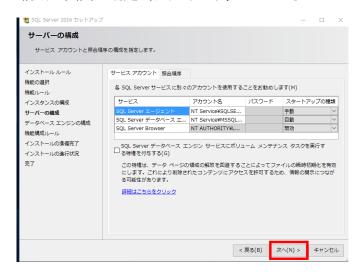
その後,「次へ」をクリック.



⑩ インスタンスの構成の画面では、「既定のインスタンス」のままでよい、「次へ」をクリック、



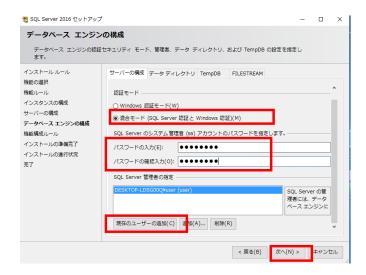
① サーバーの構成の画面. 既定(デフォルト)のままでよい.「**次へ**」をクリック.



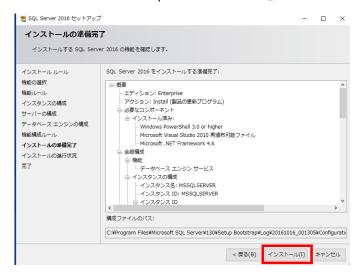
② データベースエンジンの構成の画面では

「混合モード(SQL Server 認証と Windows 認証)」をチェック

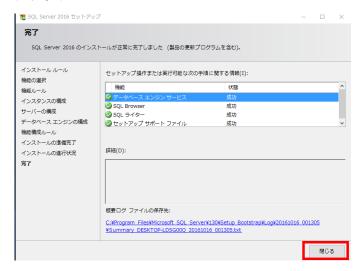
「**現在のユーザーの追加**」をクリックし, パスワードを適切に設定して,「次へ」をクリック



③ インストールの準備完了の画面では、「**インストール**」をクリック.



(4) 「閉じる」をクリック



⑤ インストールが終了すると SQL Server インストールセンターの画面に戻る



## 2. SQL Server Management Tools のインストール

① SQL Server インストールセンターの画面で、「SQL Server Management Tools のインストール」をクリック



② 「SQL Server Management Studio **のダウンロード**」をクリック



② ダウンロードした .exe ファイルを**実行** 



#### 4 ようこそ画面では、「インストール」をクリック



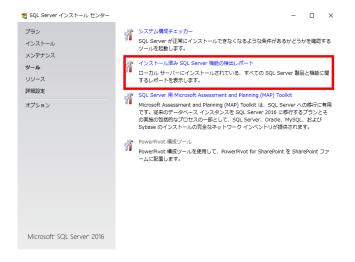
⑤ インストール終了の確認.「閉じる」をクリック.



⑥ 確認したいので、SQL Server インストールセンターの画面で、「**ツール**」をクリックする.



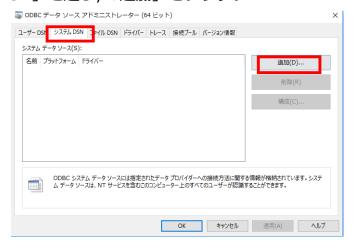
## ⑦ 「インストール済み SQL Server 機能の検出レポート」をクリック



## 3. ODBC データソースの作成

#### 準備として次のことを決めておく

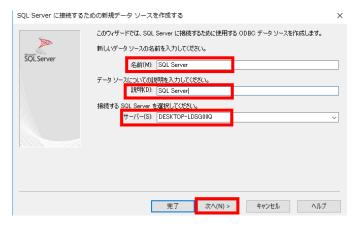
- 種類:システム DSN
- データソースの名前:ここでは「SQL Server」と設定する
- 接続する SQL Server:ここでは,ローカル接続
- ① Windows の管理ツールで「ODBC データソース(64 ビット)」を選ぶ
- ②「**システム DSN**」を選び、「**追加**」をクリック.



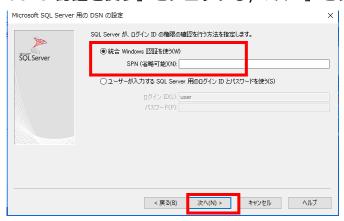
③ 今回は「ODBC Driver 13 for SQL Server」を選び、「完了」をクリック



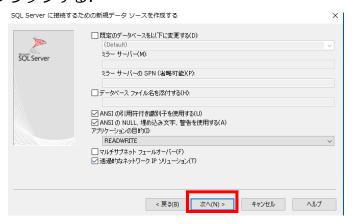
④ データソースの名前,接続する SQL Server を設定する.



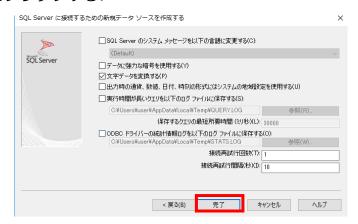
⑤ 「**統合 Windows 認証を使う**」をチェックし,「**次へ**」をクリックする.



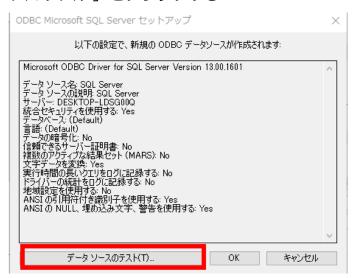
⑥ 「次へ」をクリックする.



⑦ 「完了」をクリックする.



⑧ 「データソースのテスト」をクリックする.

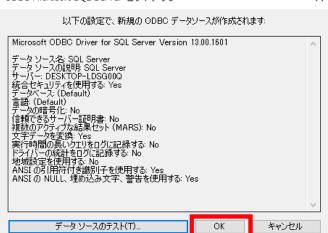


⑨ データソースのテストの結果,「テストは無事に終了しました」と表示されることを確認する.「OK」をクリックする.



## ⑩ 新規の ODBC データソースを作成したいので,「OK」をクリックする

ODBC Microsoft SQL Server セットアップ



## 4. ODBC データソースに A5:SQL MK-2 を用いて接続

A5:SQL MK-2 は便利なツール. 作者に感謝.

- ① A5:SQL Mk-2 を起動
- ② 2か所にチェックし,「追加」をクリック.
  - ・64 ビット ODBC システムデータソースを列挙する
  - ・64 ビット ODBC ユーザデータソースを列挙する



③ **ODBC での接続**を行ってみたいので、「Microsoft SQL Server と SQL Server Compact」 は選ばずに「**ADO (OLE DB, ODBC)**」を選ぶ.



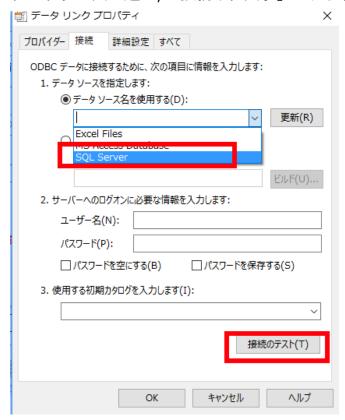
④ 接続文字列を設定したいので、接続文字列の「・・・」をクリック.



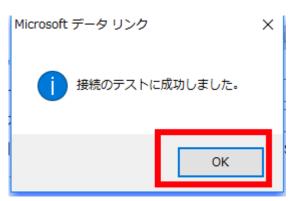
⑤「Microsoft OLE DB Provider for ODBC Drivers」をダブルクリック



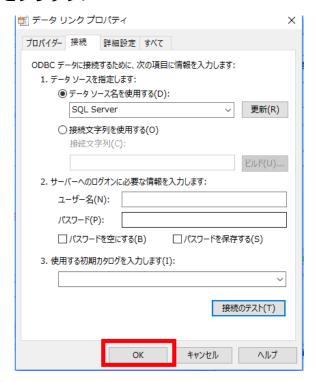
⑥ 接続したいデータソースを選び,「接続のテスト」をクリック.



⑦ 「接続のテストに成功しました。」を確認し「OK」をクリック.



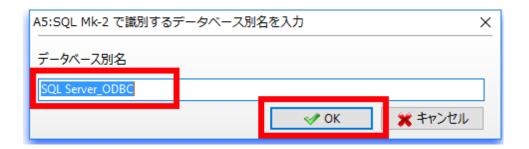
#### ⑧ 「OK」をクリック.



## ⑨ 接続文字列を確認し,「OK」をクリック.



## ⑩ データベース別名を設定し,「OK」をクリック.



## ① 「閉じる」をクリック.

